



# 令和 4 年度 事業計画書

事業局課	港湾局	新本牧事業推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	港湾整備事業費 会計	1 款	5 項	1 目		
事業名称	建設発生土受入事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	9,211,798			9,211,798		0
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	4,182,530			4,182,530		0
増△減	5,029,268	0	0	5,029,268	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	-	-	-	5,000,000	5,500,000	4,600,000
決算	市債+一般財源	-	-	-	0	0	0
予算	事業費	-	-	-			
決算	市債+一般財源	-	-	-			

事業概要	1 新本牧ふ頭における建設発生土の受入 2 豊かな海づくり及び市民理解促進事業の推進							
事業開始年度	令和3年度							
根拠法令・方針決裁等	港湾法、公有水面埋立法							
事業目的・効果 (必要性)	1 市内から発生する建設発生土の長期的・安定的な受け入れを図る。 2 市内公共建設発生土等の受入などにかかる業務を一元的に管理する。 3 国際コンテナ戦略港湾として国際競争力を強化するため、埋立事業の円滑な実施により、大水深・高規格コンテナターミナルと、高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設などを整備する。 4 埋立に伴う海域環境保全等の取組として、市民に開かれた漁港施設の改修や藻場・浅場の造成など、豊かな海づくりを推進するとともに、広報・PR等により市民理解の促進を図る。							
根拠・データ等	港湾請負積算基準、既往類似事業の実績							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
建設発生土の 安定的な受入	単位	目標		受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施
	-	実績						
豊かな海づく りの推進	単位	目標		推進	推進	推進	推進	推進
	-	実績						
事業スケジュール	・令和元年度～9年度（約10年程度）：新本牧ふ頭の埋立 ・令和元年度～5年度（約6年程度）：豊かな海づくり（市民に開かれた漁港施設の改修） ・令和3年度～5年度（約3年程度）：豊かな海づくり（藻場・浅場の造成）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	建設発生土受入事業	9,211,798	4,182,530	5,029,268	受入土量の増加による増
	細事業合計	9,211,798	4,182,530	5,029,268		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	米森 勝行	桑山 孝仁	小川 孝介